

中 学 校 英 語

**CAN-DOリスト
作成のための手引き**

Contents

CAN-DOリスト Q&A

～本多敏幸先生に聞く、CAN-DOリストあれこれ～

「CAN-DOリスト」って何ですか？／ 学習到達目標というのは、何をどう設定するのですか？	1
「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標はなぜ必要なのですか？／ 作成に関する公の資料はあるのですか？／ 単元ごとにCAN-DOリストを作成しなければならないのですか？	2
CAN-DOリストのもとになっているものはあるのですか？／ 生徒にとってどのような効果があるのですか？	3
教員にとって授業がどのように変わりますか？／ CAN-DOリストを作成するにあたって、まず、どうしたらよいですか？	4
能力記述文はどのようにして書けばよいのですか？	5
どのような能力記述文が悪い例となりますか？／評価基準とどう違うのですか？	6
学習到達目標を考えるよい方法はありますか？／ 他にどんなCAN-DOリストがあるのですか？	7
見やすいCAN-DOリストを作成するにはどうしたらよいですか？	8
本多先生からのアドバイス：CAN-DOリストを作成する際の留意点	9

ONE WORLD English Course（平成28年度用）における 学習到達目標

教員と生徒が共有できる学習到達目標を載せています！	10
学習到達目標を達成するための豊富な言語活動があります！	12
学習到達目標と評価基準とが関連づけられています！	16
評価方法を教師用指導書に提示しています！	18



「CAN-DOリスト」って何ですか？



能力や技能を「～することができる」の形で記した能力記述文（ディスクリプタ、can-do descriptors）をリスト化したものです。各中学校および高等学校において、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を設定することが求められています。



学習到達目標というのは、何をどう設定するのですか？



観点別学習状況の評価における「外国語表現の能力」および「外国語理解の能力」について、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から設定します。つまり、「聞くこと」「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の4技能について、学習到達目標をCAN-DOリストにして表します。

参考

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標設定の背景

平成23年6月に文部科学省の「外国語能力の向上に関する検討会」における審議のまとめとして発表された「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」において、各中・高等学校が学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力を達成するための学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で具体的に設定することについて提言がなされました。

提言1 生徒に求められる英語力について、その達成状況を把握・検証する

提言1の内容（抜粋）

中・高等学校では、各学校が、学習指導要領に基づき、生徒に求められる英語力を達成するための学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で具体的に設定することにより、学習指導要領の内容を踏まえた指導方法や評価方法の工夫・改善が容易になる。また、各学校が、学習指導要領の目標を地域の実態や生徒の能力に応じて具体的な目標に設定し直すことにより、すべての子どもたちの英語力の水準向上に資するだけでなく、グローバル社会に通用するより高度な英語力の習得を目指すことも可能となる。さらに、小・中・高等学校で一貫性のある学習到達目標を作成することにより、小・中・高が連携した英語教育の実現も可能となる。



「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標はなぜ必要なのですか？

& A

授業で英語を教えることによって、どのような生徒を育てたいのか、どのような力を身に付けさせたいのか、私たち教師が具体的な目標を持つことで、それに合わせた指導や評価を行うことができますようになります。また、教員と生徒が英語学習の目標を共有することで、生徒が「～ができるようになりたい」、「～ができるようになることを目指す」といった自覚や目標をもたせることができますようになります。



作成に関する公の資料はあるのですか？

& A

平成25年3月に文部科学省初等中等教育局から「各中・高等学校の外国語教育における『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標のための手引き（以下、「手引き」）」が示されています。文部科学省のウェブサイトからダウンロードできます。

URL: http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1332306.htm

参考

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標を設定する目的（「手引き」より）

- 学習指導要領に基づき、外国語科の観点別学習状況の評価における「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」について、生徒が身に付ける能力を各学校が明確化し、主に教員が生徒の指導と評価の改善に活用すること
- 学習指導要領を踏まえた、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」及び「書くこと」の4技能を総合的に育成し、外国語によるコミュニケーション能力、相手の文化的、社会的背景を踏まえた上で自らの考えを適切に伝える能力並びに思考力・判断力・表現力を養う指導につなげること
- 生涯学習の観点から、教員が生徒と目標を共有することにより、言語習得に必要な自律的学習者として主体的に学習する態度・姿勢を生徒が身に付けること



単元ごとにCAN-DOリストを作成しなければならないのですか？

& A

3年間、学年ごと、学期ごと、単元ごとのように様々な期間における学習到達目標を「CAN-DOリスト」の形で示すことは可能です。「手引き」では、学年ごとに作成することになっています。1学年修了時、2学年修了時、3学年修了時（卒業時）の学習到達目標を作成するのがよいでしょう。



CAN-DOリストのもとになっているものはあるのですか？

&
A

2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表したCommon European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment（「外国語の学習，教授，評価のためのヨーロッパ共通参照枠」，以下「CEFR」）がもとになっています。頭文字をとってCEFR（セフェール）と呼ばれています。

参考 CEFRの内容

CEFRでは、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（発表）」、「話すこと（やりとり）」、「書くこと」の5つの技能について、A1、A2レベル（基礎段階の言語使用者）、B1、B2レベル（自立した言語使用者）、C1、C2レベル（熟達した言語使用者）の6つの段階に分け、それぞれの段階においてできることを能力記述文で示しています。たとえば、最も高いレベルであるC2では、「聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる」、最も低いレベルであるA1では、「よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる」などと記述されています。日本の一般的な中学生のレベルはA1からA2程度、高校生のレベルはA2からB1程度であるとみなされています。



生徒にとってどのような効果があるのですか？

&
A

新入生にとって

CAN-DOリストを見ることにより、どの時期に何ができるようになるのかが具体的にわかります。英語学習に対するモチベーションが高まります。

全生徒にとって

CAN-DOリストの学習到達目標が達成できているかを振り返ることにより、次の目標を自ら設定したり、足りないところを補おうとしたりする意識が芽生えます。

また、単語や文法を練習するなどの学習活動や英語を使った言語活動のひとつひとつが、目標達成のために行う意味のある活動であることが理解できます。



教員にとって授業がどのように変わりますか？

①CAN-DOリストの作成を通して、教員同士が指導に関する共通理解をもつことができます。

教科の指導や評価は個々の教員がバラバラに行うのではなく、科として共通認識をもって行うべきものです。全教員で指導の方向性を確認したり、アイデアを共有したりすることで、学校としてより良い指導ができるようになります。

②具体的な目標をもって指導と評価を行うことができます。

目標があれば、それを達成するために何をどう指導しなければならないのかが見えてきます。教科書をこなすだけの指導から目標を見据えた指導を行うようになります。

③より多くの言語活動を取り入れた授業になります。

学習到達目標を達成するためには生徒に実際に英語を使った活動を行わせなければなりません。教員にとっても生徒にとっても動きのある楽しい授業になります。

④パフォーマンスについて評価する機会が増えます。

活動を多く設定すれば、それらを評価する機会も増えます。実際に生徒のパフォーマンスを評価することで、評価の信頼性が増します。

CAN-DOリストの作成を通して、個々の教員で動く英語指導ではなく、集団として動く英語指導にシフトしましょう！



CAN-DOリストを作成するにあたって、まず、どうしたらよいのですか？

誰が？

学校を代表して誰かが作成すればよいというものではありません。英語科教員の全員が関わって作りあげるところに意義があります。参考資料や素案は英語科教員の誰かがつくったとしても、全員で完成させる体制をつくりましょう。

最初に行うことは？

中学校卒業時までにはどのような力を生徒に身につけさせたいのかを話し合ってください。現在の生徒の実態や地域の状況を考え、そこから実現可能な目標を考えます。

参考 本多先生からのアドバイス

卒業時の目標を漠然と話し合うと、「入試で70点以上は取ることができる」、「重要な単語を1,000語以上書ける」、「人前で堂々と英語を話せるようになる」のような目標が出てきます。しかし、求められているのは「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」についての学習到達目標です。「英語を使って何ができるのか」の観点で話し合ってみてください。

各技能について考える際、学習指導要領の第2章「外国語科の目標及び内容」の2「内容」の(1)言語活動を参考にしてみるとよいでしょう。次の言語活動が示されています。

<聞くこと>

(エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。

<話すこと>

(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。

<読むこと>

(オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。

<書くこと>

(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。



能力記述文はどのようにして書けばよいのですか？

決まった書き方はありません。「どのような条件の下でできるか」、「どの程度できるか」、「どのような内容であればできるか」などを入れて設定します。学年が進むにつれ、発展した学習到達目標を設定するので、条件、程度、内容を変えていくことになります。

- 聞くことの例：教科書の内容や課題などについて、自然な口調でもはっきりと説明されれば、要点を理解することができる。
- 話すことの例：準備をすれば、身近な話題について、聞き手にわかりやすいスピーチをすることができる。
- 読むことの例：簡単な語で書かれたまとまりのある文章を、初見で読んで、概略を理解することができる。
- 書くことの例：理由や例を挙げて、相手に説明する短い文章を書くことができる。



どのような能力記述文が悪い例となりますか？



- 学習活動の目標となっているもの
悪い例：動詞の過去形を正しく書くことができる。
- コミュニケーションへの関心・意欲・態度の目標となっているもの
悪い例：友だちと仲良く活動を行うことができる。
- 抽象度が高いもの
悪い例：物語文を読んで内容を理解することができる。
- テストの目標となっているもの
悪い例：単語テストで80点以上を取ることができる。
- 入学試験や検定試験の目標となっているもの
悪い例：60%以上の生徒が英検3級を取得することができる。

また、「会話文をイントネーションなどに気をつけて正しく音読することができる」などの音読、「80 wpm以上で文章を黙読することができる」などの数値目標はCAN-DOリストの能力記述文には相応しくないとされています。



評価規準とどう違うのですか？



評価規準は、観点別学習状況の評価を行うために、主に单元ごとに作成するものです。したがって、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」のそれぞれについて、実際の学習活動を踏まえて具体的に作成します。

CAN-DOリストにおける学習到達目標は、「外国語表現の能力」および「外国語理解の能力」について、卒業時や学年修了時における目標を設定することが推奨されています。したがって、評価規準よりも抽象度の高い記述となります。

● 評価規準の例

過去形を用いて、自分が過去にしたことについて5文程度のまとまりのある文章を相手にわかるように書くことができる。

● CAN-DOリストにおける学習到達目標の例

簡単な語や基礎的な表現を用いて、自分がしたことについて、短い文章を書くことができる。



学習到達目標を考えるよい方法はありますか？

&
A

CAN-DOリストの学習到達目標を達成するためには生徒に言語活動を行わせる必要があります。教科書にはたくさんの言語活動が載っています。したがって、教科書を吟味し、どのような活動を行うことによってどのような力を生徒につけさせられるかという視点で考えるとよいでしょう。



例えば、ONE WORLD English Course 1のProject 3「好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！」にあるクラス内アンケート調査と発表を行うことにより、調査した結果を他人に伝える力を身に付けさせることができます。「自分が調べたことなどを、準備をすれば、聞き手にわかりやすく伝えることができる」という学習到達目標を作成することができますよ。



他にどんなCAN-DOリストがあるのですか？

&
A

検定試験の成績によりどのような力があるのかを示したCAN-DOリストがあります。たとえば、日本英語検定協会では「英検Can-doリスト」を作成しています。英検の各級合格者が「英語でどのようなことができると考えているか（自信の度合い）」ということアンケート調査に基づいて記述しています。

URL: <http://www.eiken.or.jp/eiken/exam/cando/list.html>



見やすいCAN-DOリストを作成するには どうしたらよいですか？

&
A

複雑な表であったり、学習到達目標の数が多いために読むだけでも時間がかかったりするのは避けるべきです。「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの技能、または「話すこと」を「話すこと（発表）」と「話すこと（やりとり）」の2つに分けた5つの技能を縦軸または横軸に置き、学年の学習到達目標を2～3つ程度作成していくのがよいでしょう。

フレームの例

	1学年	2学年	3学年
聞くこと			
話すこと			

	聞くこと	話すこと
3学年		
2学年		
1学年		

参考 参考となる文献

- ・ Council of Europe (2001) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment*, Cambridge University Press.
- ・ 投野由紀夫・編 (2013) 『CAN-DOリスト作成・活用 英語到達度指標CEFR-Jガイドブック』大修館書店.
- ・ 樋口忠彦・高橋一幸・編著 (2015) 『Q&A 中学英語指導法事典－現場の悩み152に答える』教育出版.

参考 本多先生からのアドバイス

CAN-DOリストを作成する際の留意点

<作成時>

- ①英語科教員全員が関わる。話し合っ作るところに意義がある。
- ②はじめに，卒業時に生徒につけさせたい力を英語科全員で話し合うとよい。同僚がどんなことを考えているのかがわかる。
- ③「リスト」ではあるが，多くの学習到達目標を設定しない。多過ぎるとやり切れない！また，実行不可能な目標は設定しない。
- ④CAN-DOリストに載せる学習到達目標はおおまかに，単元の評価規準は教科書の言語材料や活動に合わせてより具体的に設定する。
- ⑤年間指導・評価計画にどんな活動を行うか，どのように評価するのかを載せておく
とよい。絵に描いた餅にしないためにも，このことは必要。たとえば，「自分のことについて複数の文を使い，基礎的な語いや表現を使って書くことができる」という学習到達目標を立てたとする。ある単元で，活動として「自分の夢について4文程度で書く」，評価の方法として「ワークシートの評価（関心・意欲・態度），定期考査（外国語表現の能力）」などと記入しておく。

<作成後>

- ①作成したCAN-DOリストは生徒の状況に合わせて年度末に修正していくとよい。複数年度をかけて完成していくつもりで。
- ②指導方法や教材についてのアイデアを同僚と共有する。アイデアは自分だけのものにしない。コンピュータからアクセスできる共有フォルダを作ったり，作成したワークシートを同僚に配付したりするとよい。
- ③CAN-DOリストは生徒に示すとよい。生徒にとって，授業を通じて自分が将来できることを知ることはよい動機付けとなる。
- ④定期考査に，CAN-DOリストの学習到達目標に関連したテストを取り入れる。ペーパーテストで測れないものは実技テストを取り入れる。
- ⑤テストや作品などの教師の評価とは別に，年度末には自己評価をさせるとよい。CAN-DOリストに載せているすべての学習到達目標について自己評価をさせると，生徒はこれまでの振り返りや次の目標設定をするようになる。また，③の確認ができる。

教員と生徒が共有できる学習到達目標を載せています！

3年 pp. 142-143

付録

Can-Do 自己チェックリスト

3年学習到達目標	
話す Speak 	相手の話で分からないことについて質問したり聞き返したりしながら、会話を続けることができる。
	簡単な表現やきまり文句を使って、自分の要望を伝えることができる。
	準備をすれば、身近な話題について、聞き手にわかりやすいスピーチをすることができる。
書く Write 	理由や例を挙げて、相手に説明する短い文章を書くことができる。
	新聞、レポート、ガイドブックなどの形式で、身近なことを説明する短い文章を書くことができる。
	趣味や事物について、つながりのあるまとまりのある文章を書くことができる。
聞く Listen 	教科書の内容や課題などについて、自然な口調でもはっきりと説明されれば、要点を理解することができる。
	身近な話題のニュースやコマーシャルを見て、概要を理解することができる。
	日常生活に関する身近な話題についての話を聞いて、詳細を聞き取ることができる。
読む Read 	料理レシピや物の作り方についての説明を読んで、内容を理解することができる。
	物語を読んで、物事の順序や大切な部分を理解しながら、内容を理解することができる。
	簡単な語で書かれたまとまりのある文章を初見で読んで、概略を理解することができる。

どの学年の教科書においても
3年間の学習到達目標を一覧
できる

1年学習到達目標	
話す Speak 	時間、場所、人物などについて、質問をしたり、質問に答えたりできる。
	スポーツや食べ物などの身近な話題であれば、短い会話をすることができる。
	準備をすれば、知り得たことについて、他の人に伝えることができる。
書く Write 	習慣でしていることや過去にしたことなどを書くことができる。
	相手の誕生日や好きなことなどを知るために、質問文をいくつか書くことができる。
	自分のことや他人のことについて、つながりのあるごく短い文章を書くことができる。
聞く Listen 	授業中の簡単な指示を聞いて、理解することができる。
	好き嫌いや学校生活などに関する紹介を聞いて、理解することができる。
	ゆっくり話されれば、天気や時刻など自分が必要なことを聞いて、理解することができる。
読む Read 	簡単なポスターやカードなどの短い文章を読んで、理解することができる。
	旅の思い出などが書かれた非常に短い近況報告を読んで、理解することができる。
	簡単な語で書かれた短い物語や説明を読んで、辞書を使えば、概略を理解することができる。



何ができて、何ができないのか
自己評価することができる

学習到達目標をどれくらい達成できたか、自分で確認しよう。
自己評価欄のマークを○で囲もう。

関連箇所	自己評価
Conversation Tips など	😊 😐 😞 ☹️
Time for a Skit など	😊 😐 😞 ☹️
Project 2 など	😊 😐 😞 ☹️
Writing Tips など	😊 😐 😞 ☹️
Project 1 など	😊 😐 😞 ☹️
各課各 Part の Activity 3, Project 2 など	😊 😐 😞 ☹️
授業における説明など	😊 😐 😞 ☹️
Lesson 4 など	😊 😐 😞 ☹️
各課各 Part の Activity 1 など	😊 😐 😞 ☹️
Lesson 1 本文など	😊 😐 😞 ☹️
Reading Tips, Lesson 3, Reading Lesson など	😊 😐 😞 ☹️
各課の本文, Reading Lesson など	😊 😐 😞 ☹️

教科書や教室内で想定する活動をもとに
学習到達目標を設定！

2年学習到達目標

話	<p>趣味など自分のなじみのある話題に関して、簡単な質疑応答をすることができる。</p> <p>自分が体験したこと、読んだり聞いたりしたことについて、意見や感想を交えながら述べ合うことができる。</p> <p>準備をすれば、自分がしたことや将来の夢について短いスピーチをすることができる。</p>
書	<p>自分が過去にしたことやその感想などについて数文で書くことができる。</p> <p>自分の意見を載せた簡単なレポート、新聞、日記などを書くことができる。</p> <p>趣味や事物について、つながりのある数文の文章を書くことができる。</p>
聞	<p>ゆっくり話してもらえば、活動のやり方などの説明を聞いて、理解することができる。</p> <p>自分自身や学校・地域などの身のまわりの話題についてのスピーチを聞いて、理解することができる。</p> <p>日常生活の身近な話題についての話を聞いて、具体的なことを聞き取ることができる。</p>
読	<p>スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のある話題に関する文章を読んで、その概略を理解できる。</p> <p>短い文章を読んで誰が何をするのか具体的に理解することができる。</p> <p>簡単な語で書かれた短い物語や説明を読んで、イラストや写真を参考にしながら概略を理解することができる。</p>

学習到達目標を達成するための豊富な言語活動があります！その1

1年 p. 51 [Lesson 4 Part 1 右ページ]

Activity

Tool Kit 自己表現を行うための語彙の補充

親族・性格・状態

Tool Kit

This is my mother. She is friendly.

例 mother / friendly



1 father / hard-working



2 brother / popular



3 sister / sweet



4 grandfather / gentle



5 grandmother / kind



語彙

- friendly
- hard-working
- popular
- sweet
- gentle
- kind

Listen

1. Nick が自分の家族を紹介しています。紹介を聞いて、左と右をそれぞれ線で結ぼう。

- | | | |
|-------------|---|----------------------------|
| father | ● | ● a good tennis player |
| sister | ● | ● good at cooking |
| grandfather | ● | ● good at science and math |

Speak

2. 例にならって、次の人物を紹介しよう。

例 This is my brother.
He is kind.



brother / kind



Write

3. 写真などを使って 2. の活動を参考に、あなたの身のまわりの人を紹介する文を書こう。

Activity

1. Listen 本文やTool Kitの語彙を用いたリスニング活動
2. Speak 基本文に慣れさせるためのスピーキング活動
3. Write 文と文のつながりを意識したライティング活動

fifty-one | 51

1年 p. 58 (Lesson 4 Task)

Lesson 4 Jump Task

1. Read, Speak

本文を読み直して復習・整理をさせるためのタスク

1.   キング先生が家族を紹介しています。 _____ に適切な語を記入して、
言ってみよう。

Ms. King: This is my father.

1. _____ is good at 2. _____.

This is my mother.

3. _____ is a good tennis player.

This is my 4. _____, Kevin.

I sometimes email 5. _____.

This is my 6. _____, Sofia.

I miss 7. _____ a lot.



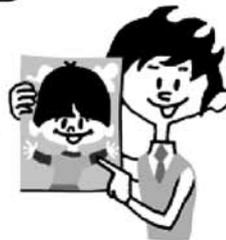
2.  例にならって、写真を見せながら、有名人や家族を紹介しよう。

例



This is Yuki.
She is from Asahikawa.
I like her.

This is Akira.
He is my brother.
He is five years old.



2. Speak

スピーキングの言語活動を行い、
既習の言語材料を自分で考えて
使用させるためのタスク

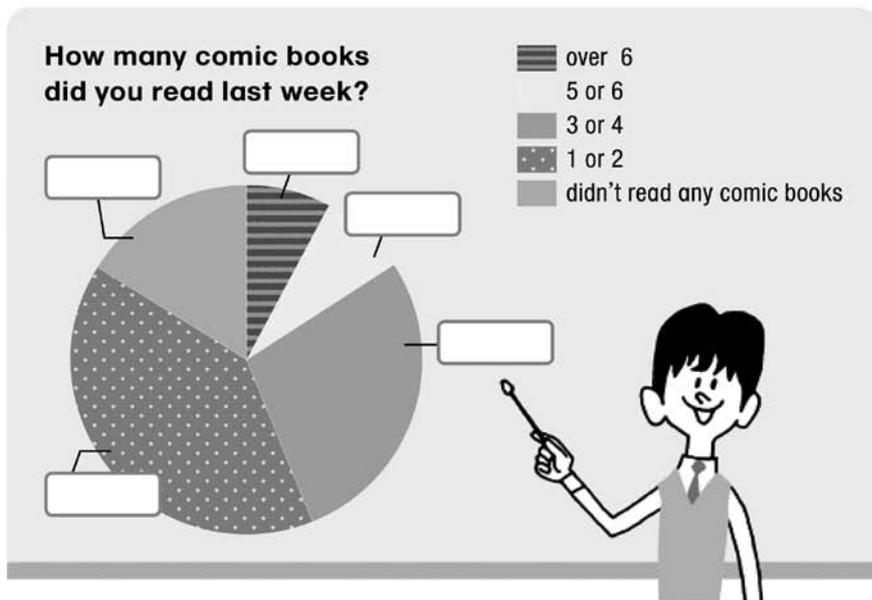
学習到達目標を達成するための豊富な言語活動があります！その2

1年 pp. 118-119

Jump Project 3

好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！

1. Masato がクラスで行ったアンケート結果の一部を発表しています。それを聞いて、グラフ内の に当てはまる人数を記入しよう。



2. グループで次の①～④から1つのテーマを選び、クラスメイトに調査しよう。

	質問	選択肢
①	How many comic books did you read last week?	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, over 6
②	How many anime programs did you watch last week?	0, 1, 2, 3, 4, 5, over 5
③	What's your favorite manga?	
④	What's your favorite manga character?	

ONE WORLD English Courseは、いくつかの本課で学んだ言語材料や言語活動の場面をもとに、4技能をフル活用して行う「プロジェクト活動」のしくみを早くから取り入れてきました。平成28年度用では、1年と2年で3回ずつ、3年で2回、4技能を総合的に扱う「Project」を設けています。



目標：調査したことをまとめ、発表できる **Can-Do**

3. 次の英文を参考にして、あなたの調査の結果をまとめよう。

My question was “ _____.”

I asked twenty-five classmates. Look at this.

_____ students answered, “ _____,”

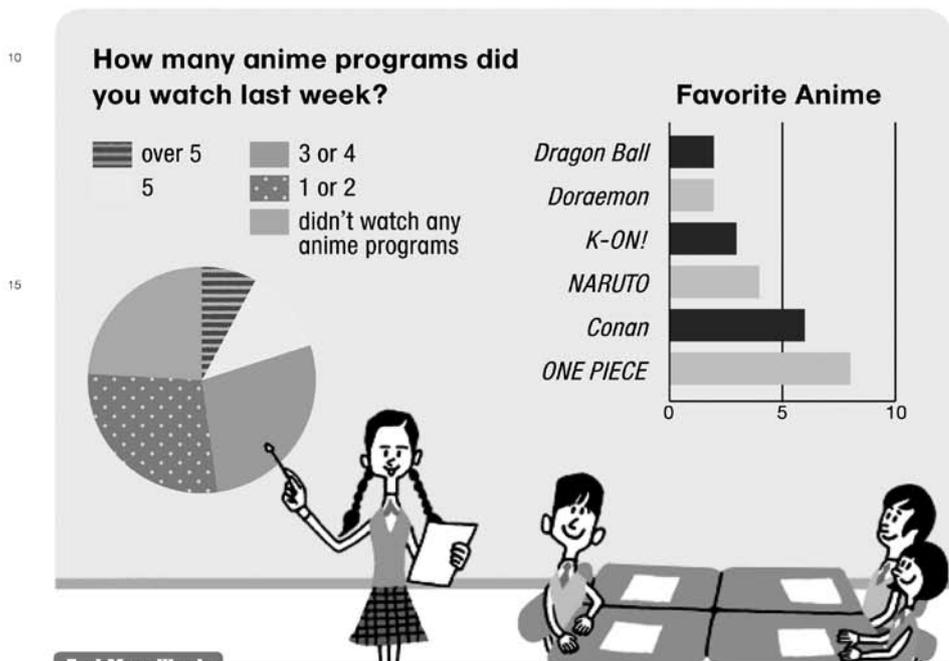
_____ students answered, “ _____,”

_____ students answered, “ _____,”

_____ students answered, “ _____,” and

_____ students answered, “ _____.”

4. 調査の結果をわかりやすくグラフにして、グループの中で結果を順番に発表しよう。



And More Words

anime アニメ Dragon Ball 「ドラゴン・ボール」 ONE PIECE 「ワンピース」

学習到達目標と評価規準とが関連づけられています！

1年 「年間指導・評価計画案」 1年Lesson 9 関連部分

月	Lesson	Part	配当時間	▲話題・題材 △ねらい	言語材料 (◆は主な復習事項)	●言語の使用場面 ○言語の働き ★Culture Notes ☆4種のTips
2月	Lesson 9 (pp. 108-116)	—		オーストラリアの観光地から ▲キング先生の妹のソフィアが、家族旅行で訪れたケアンズでしたことについて話す。 △過去のことについて説明したり、情報のやりとりをしたりすることができる		
		Part 1	2	▲授業でキング先生が、妹のソフィアからのメールについて話す。 △過去のできごとについて説明することができる	【文法事項】一般動詞の過去形 (規則変化)	●授業中の先生と生徒の会話 ○過去のことを説明する
		Part 2	2	▲ソフィアがケアンズでしたことについて、アヤたちに話す。 △過去のことについて情報を交換することができる	【文法事項】 Did you～? とその応答 【発音】音のつながり Did you have a good time? [ou] show, know, throw [au] now, down	●インターネットを使った海外の生徒との会話 ○過去のことについて質問する
		Part 3	2	▲ソフィアのケアンズでの休暇について、アヤが文章にまとめる。 △過去のことを順序立てて説明することができる①	【文法事項】一般動詞の過去形 (不規則変化) 【発音】語句のリズム in the morning / in the afternoon / in the evening [f] dolphin, photo	●出来事をレポートにまとめた文章 ○過去のことについて順序を追って説明する
		Part 4	2	▲授業のあと、アヤたちがソフィアにお礼の手紙を書く。 △過去のことを順序立てて説明することができる②	【文法事項】 be動詞の過去形 (肯定文)	●お礼の手紙文 ○過去のことを説明する
		Task	0.5			
		英語のしくみ7 (p.117)	0.5	過去のことを表す文 (一般動詞)	◆一般動詞の過去形 (規則変化・不規則変化)	
		課末評価	1			
		3月	Project 3 (pp.118-119)	2	好きなマンガやアニメなどについて発表しよう! △調査したことをまとめ、発表できる	(既習言語材料)

「Can-Do自己チェックリスト」に掲載されている「学習到達目標」に関連する評価規準を作成。教師用指導書では、達成状況を評価するための例を表示します（次頁参照）。

Lesson	評価規準 (「関心」=コミュニケーションへの関心・意欲・態度, 「表現」=外国語表現の能力, 「理解」=外国語理解の能力, 「知識」=言語や文化についての知識・理解)	評価規準メモ	評価の方法 (具体的な評価方法例)	CAN-DOとの関連	
Lesson 9+英語のしくみ7	関心	L…ActivityやProjectなどの活動や教師の話す英語を聞いて、内容を理解しようとしている。	言語活動への取り組み	活動中の観察(継続的に観察評価していく)	
	関心	S…自分が得た情報を他の人に伝えようとしている。	言語活動への取り組み	活動中の観察(Task 2)	
	関心	W…Activityなどの書く活動において、多くの情報を書こうとする。	言語活動への取り組み	ノートやワークシートなどの点検	
	表現	S…質問して得たことを、他の人に正しく伝えることができる。	適切な発話	TaskやProjectの発表の評価	【S3】準備をすれば、知り得たことについて、他の人に伝えることができる。
	表現	R…イントネーション、強勢、区切り、音変化などに注意して、正しく音読することができる。	正確な音読	音読テスト(教科書本文の音読)	
	表現	W…過去にしたことやしなかったことをを文法に従って正しく書くことができる。	正確な筆記	ペーパーテスト(例:昨日のことについて「音楽を聞いた」などのことがらをしたかしなかったかを書く形式)	【W1】習慣でしていることや過去にしたことなどを書くことができる。
	理解	L…過去のことを述べている英文を聞いて、内容を正しく理解することができる。	正確な聞き取り	リスニングテスト(例:英文を聞いて、内容に関する質問に答える形式)	
	理解	R…旅の思い出など過去のことについて書かれた文章を読んで正しく読み取ることができる。	正確な読み取り	ペーパーテスト(例:英文を読んで、内容に関する質問に答える形式)	【R2】旅の思い出などが書かれた非常に短い近況報告を読んで、理解することができる。
	理解	R…書かれた内容から必要な情報を読みとることができる。	適切な読み取り	ペーパーテスト(例:複数の日記などの文章を読んで、内容に関する質問に答える形式)	【R2】旅の思い出などが書かれた非常に短い近況報告を読んで、理解することができる。
	知識	S…規則動詞の過去形についての発音の知識を身に付けている。	言語についての知識	音読テスト(例:過去形の英文を音読する形式)	
	知識	R…過去形の文についての知識を身に付けている。	言語についての知識	ペーパーテスト(例:文に合った正しい語句を選択する形式)	
Project 3	知識	W…メール文や手紙文を書く際の書式に関する知識を理解している。	文化についての理解	ペーパーテスト(例:短いメール文を書く形式)	
	知識	W…名詞の複数形や動詞の変化形を調べ、正しく書くことができる。	言語についての知識	ペーパーテスト(例:辞書を使わせながら、単語を書かせる形式)	
	知識	W…よく使われる語句を正しいつづりで書くことができる。	言語についての知識	単語テスト	
	表現	S…聞き手に分かりやすいように適切な速さや声の大きさと工夫しながら話すことができる。	適切な発話	TaskやProjectの発表の評価	
	理解	L…図や表を説明する英文を聞いて、内容を正しく理解できる。	適切な聞き取り	リスニングテスト(例:図や表の説明文を聞いて、内容に関する質問に答える形式)	【L3】ゆっくり話されれば、天気や時刻など自分が必要なことを聞いて、理解することができる。

評価方法を教師用指導書に提示しています！

1年学習到達目標（抜粋）

<話すこと>

- ・準備をすれば、知り得たことについて、他の人に伝えることができる。

評価方法

（Lesson 9の指導により、過去形の言語材料と過去についてのインタビューとレポートを学んだ後で、）次のパフォーマンス・テストを実施する

手順

- (1) パフォーマンス・テストの内容をタスク・カードの例を示しながら生徒に伝える。

タスク・カードの例

インタビューした相手		Jim（ジム）
質問内容		応答のメモ
Q1	What did you do yesterday evening?	listened to music
Q2	以下省略	以下省略
Q3		
Q4		
Q5		

伝える内容

1人ずつ面接をして話すことの評価を行う。友だちに5つの質問をして、その応答をメモしたとする。質問内容とメモはカードに書かれてある。20秒間の準備の後、友だちから聞き取ったことを先生に伝える。

この例のQ1の場合には、Jim listened to music yesterday evening. と言えばよい。

(2) インタビュー・テストを実施する。

タスク・カード ▶

AとBのタスク・カードを交互に使用する。

●タスク・カードA

インタビューした相手		May (メイ)
質問内容		応答のメモ
Q1	What did you do yesterday evening?	watched TV
Q2	What did you watch?	A variety show
Q3	Was it interesting?	Yes
Q4	Did you study?	No
Q5	What time did you go to bed?	At 11:00

●タスク・カードB

インタビューした相手		Tom (トム)
質問内容		応答のメモ
Q1	What did you do yesterday evening?	went to a restaurant
Q2	What did you have?	Spaghetti
Q3	Was it delicious?	Yes
Q4	Did you watch TV?	No
Q5	What time did you go to bed?	At 10:00

発話例 ▶

(タスク・カードA)

May watched TV yesterday evening. She watched a variety show. It was interesting. She didn't study (yesterday evening). She went to bed at eleven.

(タスク・カードB)

Tom went to a restaurant yesterday evening. He had spaghetti. It was delicious. He didn't watch TV (yesterday evening). He went to bed at ten.

評価例 ▶

それぞれの英文を正しく伝えられているかどうかで判断する。たとえば、冠詞や前置詞が落ちていても、内容が伝わるのであればよしとする。

●本多敏幸

千代田区立九段中等教育学校指導教諭
東京学芸大学大学院教育学研究科英語教育専攻修士課程修了。
ELEC同友会英語教育学会会長，英語授業研究会理事，
都中英研調査部副部長。平成19年度に文部科学大臣優秀教員表彰を受ける。



【主な著書】

- ・『若手英語教師のためのよい授業をつくる30章』(単著，教育出版)
【財団法人語学教育研究所『2011年度外国語教育研究賞』受賞】
- ・『到達目標に向けての指導と評価－中学校英語科』(単著，教育出版)
- ・『入試英語力を鍛える！授業アイデア&パワーアップワーク40』(単著，明治図書)
- ・『英語力がぐんぐん伸びる！コミュニケーション・タイム－13の帯活動&ワークシート』(単著，明治図書)
- ・『本多式中学英語マスター』シリーズ (単著，文藝春秋)
- ・『中学生からの勉強法』(共著，文藝春秋)
- ・『Q&A 中学英語指導法事典－現場の悩み152に答える』(共著，教育出版)
- ・『中学校・高校英語 段階的スピーキング活動42』(共著，三省堂)
- ・中学校検定教科書『ONE WORLD English Course』(共著，教育出版)

発行／2015年4月

編集／教育出版株式会社 編集局

発行所／教育出版株式会社

東京都千代田区神田神保町2-10

電話 03(3238)6901[営業] 03(3238)6864[編集]

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>